

善福寺川周辺の樹木と野草

～～野草シリーズ～～

林 静 (S45 経)

川沿いに散歩をしていると、時々アレ！というような見たことのない形の花に出会うことがあります。野草シリーズ第4回第2弾は、善福寺川周辺で見かける花のうち、「面白い形をした草花」をご紹介します。

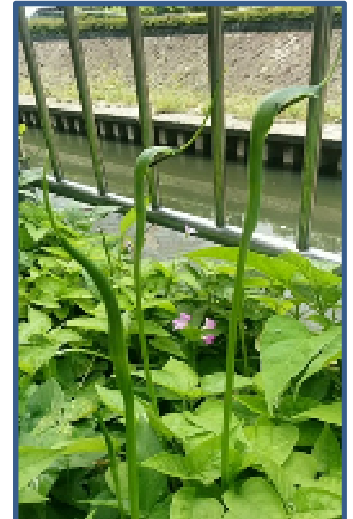
(写真1)



最初の花は(写真1)は、「コバンソウ(小判草)」です。5～7月頃、高さ50cmくらいの茎に、長さ1～2cm程の小判のような花の穂がたくさん垂れているのを見かけます。イネ科の植物で、明治時代にヨーロッパから渡来し、園芸用のものがその後逃げ出し、野生化したとのこと。とても個性的で魅力的な野草です。

次にご紹介する花(写真2)は、「カラスビシャク(烏柄杓)」です。三つ葉のような葉の横から、

(写真2)



へびが鎌首を挙げたように、ス～と30cm程伸びているのがこの花です。この花に出会ったときは、とても珍しい宝物に出会ったようなとてもうれしい気持ちになりました。

イネ科かと思っていましたが、これを書くために図鑑で確認すると、なんとサトイモ科だそうです。

5～8月頃、成園橋より下流でよく見かけます。

(写真3)



次にご紹介する花(写真3)は、茶色い高さ20cm前後の無機質な変な花です。はじめて見た時は、枯れた花かな～、枯れる前はどんな色の花だったんだろう、と思いながら、らくらくホンカメラに収めました。帰ってから図鑑を見ると、「ヤセウツボ(瘦韌)」という名前の花でした。マメ科のシロツメクサ(クローバ)などに寄生する葉緑素の無い寄生植物とのこと。

最近市街地の公園に分布を広げているそうです。

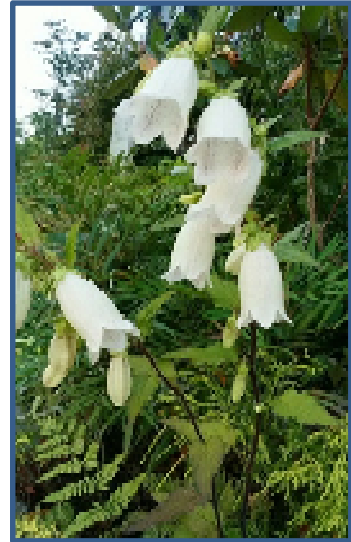
2017年6月に、成園橋下流左岸のはずれで見つけました。

(写真4)は、皆さん良くご覧になる花だと思います。

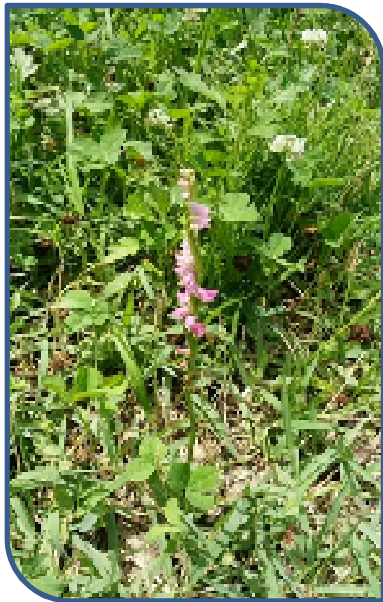
「ホタルブクロ (蛍袋)」です。

ハイキングで里山を歩いていると、白や紫色のこの花をよく見かけますね。善福寺川周辺では、6~8月頃、よく見ることができます。旧荻窪団地や阿佐ヶ谷団地が、マンションに建て替えられ、その周辺に、珍しい樹や草花が植えられており、その中の一つです。

(写真4)



(写真5)



もう一つ欲張って、今回は、5つ目の花をご紹介します。

ちょっと見にくいですが、(写真5)は、

「ネジバナ (捩花)」です。日当たりのよい芝生や草地などに、5~8月頃、高さ15cm程の、ピンクの、らせん状にねじれた花を咲かせます。昔からよく見かける花です。ランの一種だそうです。右巻きも左巻きもあるそうですが、たまにはまっすぐに伸びる、ひねくれた花もあるようです。

旧荻窪団地の草原でよく見かけます。

いろんな形の花があるものですね。ちょっと形が変わった花を見つけた時は、ひょっとして珍しい花?なんて、家に帰って、図鑑で確認するまでは、なんだかわくわくした気持になるのは私だけでしょうか。

(つづく)